

第6回 第4次日野市農業振興計画策定委員会 要点録

日 時:令和5年11月21日(火) 14時00分～16時00分

場 所:日野市役所5階 507会議室

出席者:10名

※敬称略

| 番号 | 氏名 | 種別 | 備考 |
|----|--------|----------|--------------------|
| 1 | 旗野 利之 | 市内農業者① | 日野市農業団体連合会会長 |
| 2 | 梅村 桂 | 市内農業者② | 株式会社ネイバーズファーム代表取締役 |
| 3 | 馬場 裕真 | 日野市農業委員会 | 日野市農業委員会農政部長 |
| 4 | 金井 望 | 東京都農業会議 | 一般社団法人東京都農業会議業務部 |
| 5 | 野島 智佳子 | 公募市民① | |
| 6 | 齊藤 佳花 | 公募市民② | |
| 7 | 鎌田 純徳 | 東京都職員① | 東京都農業振興事務所農務課 |
| 8 | 直井 樹 | 東京都職員② | 東京都南多摩農業改良普及センター |
| 9 | 青木 奈保子 | 日野市① | 日野市産業スポーツ部長 |
| 10 | 吾郷 勝 | 日野市② | 日野市産業スポーツ部都市農業振興課長 |

欠席者:1名

| | | | |
|---|-------|-------|----------------------------------|
| 1 | 七種 和宏 | JA 職員 | 東京南農業協同組合 日野地区指導経済課営農センター課長補佐 |
|---|-------|-------|----------------------------------|

1. 開会

産業スポーツ部長より挨拶

2. 第4次日野市農業振興計画・前期アクションプラン(案)の全体修正

①アクションプランの確認

・事務局:第4章の1と2はアクションプランに関連する SDGsマークを追加している。

1. 日野らしい農業経営

(1)農業を憧れる職業にしよう

116

・委員:制度を活用する側なので、実施主体の欄の農業者にも○をつけてはどうか？

・事務局:追加する。

(2)日野の農産物の付加価値の向上

修正案意見なし

(3)スマート農業や栽培技術の向上

131

・委員:スマート農業に関連した施設整備のみの補助というように捉えられる。施設整備以外の取り組みに対しても補助する内容の方がよいのでは？

・委員:私も同意見。ロボット草刈り機などもスマート農業の1つ。東京都生産振興担当の事業では施設整備をメインに取り扱っているが、スマート農業や栽培技術の向上に必要な整備は施設以外にもあると思う。

・事務局:施設整備に限らない文言に修正する。補助金もだが、補助金を利用しないスマート農業の取り組みも支援するように文言の整理をする。

・委員:新品種なども新しい栽培技術。そういった情報のPRを行う、というような文章を入れ込むのもいいかも。ハードだけでなくソフトの支援も行う。

2. 市民の暮らしとつながる農業

(1)食育の推進

217

・委員:体験授業を実際に実施するのは農業者なので、実施主体の欄の農業者にも◎をつけてはどうか？

(2)農地の多面的機能の発揮

修正案意見なし

(3)市民が支える農業

修正案意見なし

3. 持続的な地域循環

(1)地産地消と地域循環の推進

312

・委員:学校給食事業では配送支援などを新しく取り組むので、指標の供給農家数を増やせないか？

・委員:近年は新しく始める人数より辞める人数が増えている。

・委員:平山地区では1人減ったら1人増やす目標ではある。これからもどんどん学校給食に興味がある人を引き込みたい。他の地区の状況もあるが、希望の意味も込めて35軒にしてはどうか。

・事務局:配送支援などの事業効果の検証の意味も込めて35軒に変更する。

313

- ・委員:レシートの数からの試算であることを書いた方がいい。
- ・事務局:追加する。

(2)環境に配慮した農業の推進

321

- ・委員:先日の農業委員会でも環境に配慮した農業をしていくという話が出た。東京都エコ農産物認証も積極的に取っていくこととした。普及センターをはじめ、行政でも認証軒数を増やす取り組みを行ってほしい。給食出荷者はエコ農産物認証を取れるようにするなど。
- ・委員:特に子育て世代はエコ農産物認証のシールが付いた農産物は子どもに食べさせたい人が特に欲しがるかもしれない。より消費者向けに PR をしていけたらエコ農産物認証をとるメリットも出てくると思う。保健センターなど、子育て世代の目に入るようなところで PR をすると効果的だと思う。
- ・委員:それぞれ学校給食出荷者がエコ農産物認証を取れていれば、農家もシールを貼る手間もなくなるしいいかも。
- ・委員:いいと思う。給食の時間に子どもたちへ教えると保護者にも伝わりやすい。
- ・委員:エコ農産物認証を取っている＝農薬不使用、ではない。農薬使用量を守るということもエコ農産物だし、GAP 制度もある。その消費者理解が難しいかもしれないが、PR をしていくのがいい。

(3)農地や用水の保全

331

- ・委員:今年から、生産緑地を貸借すると奨励金がもらえる「都市農地流動化促進奨励事業」が始まった。実施主体の欄の東京都にも◎を入れてはどうか？

②タイトル案の決定

1. キーワードの抽出

日野、農業、新時代、みんな、個、個性あふれる、つながる、輝く

2. タイトル案の再検討

- ・個性が光る、市民が育む日野の農業 0
- ・市民と育む、個性が輝く日野の農業 0
- ・個性が輝く、新時代の日野の農業 2
- ・みんなの個性が輝く新時代の農業へ 8

【決定】タイトル「みんなの個性が輝く新時代の農業へ」

③全体構成の確認

意見なし

④各章についての意見

2章

2. 社会を取り巻く変化

(3)都市農業への追い風

・委員:「～規模拡大を図る親元就農者や新規就農者～」→「規模拡大を図る農業者(新規就農者含む)」に変更した方がいいのではないか。

・事務局:変更する。

5章

1. 計画の推進体制

・委員:「農商工」を強調しなくてもよいのでは?民間企業という大きいくりというよりは、もう少し狭い事業者などの単位でアクションプランがかかれていた。

・委員:「市内事業者」などのカテゴリにし、大学も削除する。

・委員:小中学校なども併せて「教育機関」としてもいいのでは?

・事務局:<市民>のカテゴリに「教育機関」を追加する。

(1)農業者の役割

・委員:「環境に配慮する」といった文言があったほうが、アクションプランとの整合性が図れそう。

・事務局:「環境に配慮した農業を推進する」と追加する。

3. 事務連絡

事務局より説明

●パブリックコメント実施期間

令和5年12月11日(月)～令和6年1月15日(月)

4. 閉会